

令和6年度 上溝高等学校 2学期 終業式 教頭のはなし

○生徒の皆さん、おはようございます。2学期の終業式を迎えました。今日は校長に代わって、わたくし教頭の森がお話します。

○今年も残すところあとわずか。あと数日で2024年が終わろうとしています。皆さんの2024年はどうでしたか。今年は、パリオリンピック2024が開催され、多くの日本人選手が好成績を収めるなど、日本人アスリートが世界で大活躍しました。また、日本被団協がノーベル平和賞を受賞したニュースはまだ記憶に新しい話題です。

○国際的に認められるということは、その成果や価値観が一部の地域や文化だけではなく、他の文化や人々にも共感を生むことを意味します。日本にいると、自分たちの文化や価値観が当たり前のように感じられます。しかし海外に出ると、自分たちとは異なる考え方や生き方があることを知ると同時に、日本の良さや独自性に気づきます。世界への憧れだけではなく自分の強みに気づき、長所を生かせる時です。

○学校内では部活動や学校行事を通して、皆さん一人ひとりが個性を発揮し、自分の長所に気づくこともあったと思います。周囲の人が皆さんの意見を尊重してくれたり、あるいは皆さんが得意とすることを評価してくれることで、「自分にはこんな強みがあったんだ」と思える瞬間があります。自分の短所ばかりが気になり、長所になかなか気が付かない人もいます。是非、いま隣にいる友達の良いところを探してあげてください。そしてそれを褒めてあげてください。その友達の新たな目標につながるかもしれません。友達の人生をも変えるかもしれません。

○明日から冬休みが始まり、1年間を振り返るよい機会です。皆さんにとっての勉強や部活動、友人関係といった日々の忙しい生活の合間に、自分自身の目標、なりたい自分に向き合う時間にしてほしいと思います。

○あとひとつ、登下校中のマナーについてお話します。皆さんのなかに、イヤホンをしてながら自転車に乗っているひとはいませんか。自転車に乗りながらスマホをいじっていないですか。まさか、2人乗りをしている人はいないと思いますが、それらはもはやマナーではなくルールレベルです。今日お話ししたいのはマナーです。

○皆さんが歩行者として横断歩道で立っていると、自動車は止まってくれると思います。自動車は横断歩道を渡ろうとしている歩行者を見たら、一時停止しなければなりません。しかし、自動車も急いでいます。急いでいるけど止まってくれるのです。横断歩道を渡る時には友達とのおしゃべりに夢中にならず、もちろんスマホも見ず、左右の安全をしっかりと確認した上で、素早く渡るような気づかいができるひとになってもらいたいと思います。

○「傘かしげ」という言葉があります。雨の日に狭い路地で傘をさした者同士がすれ違う時に、相手と反対側に傘を傾けることだそうです。おたがい道を譲り合う気持ちを大切にしてください。

○このようなことから、上高生として、そして、ひとりの個人として、自分や他の人の人権や尊厳を大切に、一日一日を丁寧に過ごしていただけたらと思います。

○最後になりますが、皆さんが新しい年を明るく迎えられることを心から願っています。それでは、良いお年をお迎えください。

令和6年12月20日（金）

神奈川県立上溝高等学校 教頭 森 仁